

# ハナモク・ハナキン 曜日イメージ調査

言葉、元気度、アフター5、花、色、動物に見る曜日感覚

—オトコは“ハナキン”、オンナは“ハナモク” + “ハナキン”？—



買い物のハナモク、食事+酒を楽しむのハナキン

1990年8月

ポニー文化研究所

担当：高谷・村澤

## “ハナモク” “ハナキン” 曜日イメージ調査

はじめに

「日本人は働きすぎ」などともいわれ、昨今は年間労働時間の短縮が一つの課題といわれている。

労働省が7月30日に発表した「平成元年度労働時間制度等総合調査」によると従業員30人以上の企業に勤める人の37%が完全週休2日制となっている。これは前年と比べると7%の増加である。とくに従業員1千人以上の大企業ではほぼ半数の48%が完全週休2日制を実施している。この他にも隔週週休2日制や月1回、月2回などなんらかの形で週休2日制の適用を受けている労働者は全労働者数の83%に上る。

そんな中で日本人の「曜日感覚」もずいぶん変わってきているようだ。いわゆる“ハナキン”に加えて最近では“ハナモク”という言葉まで登場し、マスコミでは会社員の「アフター5」も多彩になったと報道されている。

その一つの現われがデパート各社の定休日変更の動き。理由はもちろん曜日と来店客数の関係の変化。一言でいうと木曜の来店客数の増加、いわゆる“ハナモク”のため。

ある百貨店ではこの動きを「週休2日制の定着とともに、土、日曜日をレジャーに、金曜日の夕方を会食にあてる傾向が強まり、買物は木曜日に済ませようという動きが出てきた」と分析している。従来、週の中盤の水曜日か木曜日にあった定休日を週の初めごろにシフトしようというのだ。

そこで、完全週休2日制の会社に勤務する首都圏在住の男女の会社員を対象に、“ハナキン” “ハナモク”の定着度、両者の違い、男女差などを中心とした「曜日のイメージ」調査を実施した。

## 〈調査概要〉

1. 調査対象者：首都圏に住む週休2日制の会社に勤める男女

2. 調査時期：1990年7月

3. 調査方法：アンケート留置法

4. 対象者数

回答数 140

男性46人(32.8%)

女性88人(62.9%)

不明6人(4.3%)

5. 対象者の年齢分布

	24以下	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50以上	不明	合計
男性	2 4.5%	4 8.7%	8 17.4%	13 28.3%	3 6.5%	11 23.9%	4 8.7%	1 2.2%	46名 100%
女性	40 45.5%	23 26.1%	8 9.1%	7 7.8%	5 5.7%	2 2.3%	1 1.1%	2 2.3%	88名 100%
不明	-	-	-	-	-	-	-	6 100%	6名 100%
全体	42 30.0%	27 19.3%	16 11.4%	20 14.3%	8 5.7%	13 9.3%	5 3.6%	9 6.4%	140名 100%

## 〈調査結果要約〉

### 1. 言葉で例えると

- ・月曜は「暗い」、火、水、木曜は「じっと我慢」、金曜は「ウキウキ」、土曜は「明るい」で日曜は「リラックス」。

### 2. 元気な順に番号で?

- ・木曜から金曜にかけて元気度がマイナスから一気にプラスへ。
- ・最も元気なのは土曜日、ついで金曜、日曜の順。

### 3. アフター5は?

- ・男女で極端な違い。行動パターンがバラエティに富んだ女性、「酒」か「残業」しかない男性。
- ・女性に目立つ元気ぶり。
- ・女性にとっては残業も単なる選択肢の一つ。

### 4. 「ハナモク」はあるのか?

- ・女性の場合  
……「買い物」の“ハナモク”、「酒を楽しむ」と「食事」の“ハナキン”。
- ・男性の場合……木曜も仕事に追われ、“ハナキン”も「酒」一筋。

### 5. 花で例えると?

- ・月曜～木曜はイメージが不明確。金曜の「バラ」、土曜、日曜の「ヒマワリ」が特徴的。

### 6. 色で例えると?

- ・“灰色の月曜日”に対して金曜は黄色、赤、ピンク。  
そして日曜は遊び疲れのシロ?

### 7. 動物で例えると?

- ・月曜は「ナマケモノ」。土曜、日曜「ウマ」(サラブレッド?)。

## 〈調査結果詳細〉

一月曜から金曜までの曜日について、あなたが特徴的に感じることを、あるいはイメージをお聞かせ下さい

### 1. 言葉で例えると

▼全部で18個の言葉（表1）の中から該当するものをいくつでも選んでもらいました。

表1

1. 明るい	2. 暗い	3. 生き生き	4. ぐったり	5. もりもり
6. へとへと	7. ズルズル	8. ドラドラ	9. さっぱり	10. じっと我慢
11. げっそり	12. うきうき	13. ピリピリ	14. イライラ	15. 晴れ晴れ
16. ゆったり	17. ルンルン	18. リラックス		

▼まず、曜日ごとにベスト5を見ると表2のようになる。

表2

	月	火	水	木	金	土	日
1位	暗い 55	ジッと我慢 51	ジッと我慢 57	ジッと我慢 75	うきうき 66	明るい 84	リラックス 69
2位	ぐったり 42	暗い 26	ドラドラ 26	ぐったり 24	明るい 46	晴れ晴れ 65	明るい 60
3位	ジッと我慢 39	ドラドラ 21	ぐったり 25	明るい 25	ルンルン 39	ゆったり 55	ゆったり 55
4位	ドラドラ 28	ゆったり 16	暗い 21	へとへと 21	生き生き 31	生き生き 50	生き生き 37
5位	げっそり 25	生き生き 15	げっそり 18	げっそり 17	晴れ晴れ 25	ルンルン 44	うきうき 22

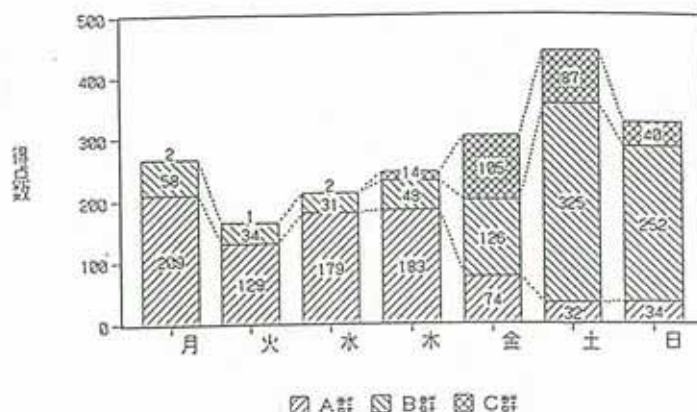
そして、18個の言葉の内、表2で特徴的な結果が出てきたものをA、B、Cの3群に分けてみると、図表1のようになる。

A群は「暗い」、「へとへと」、「じっと我慢」、といったお疲れ型。

B群は「明るい」、「いきいき」、「晴れ晴れ」といったリラックス型。

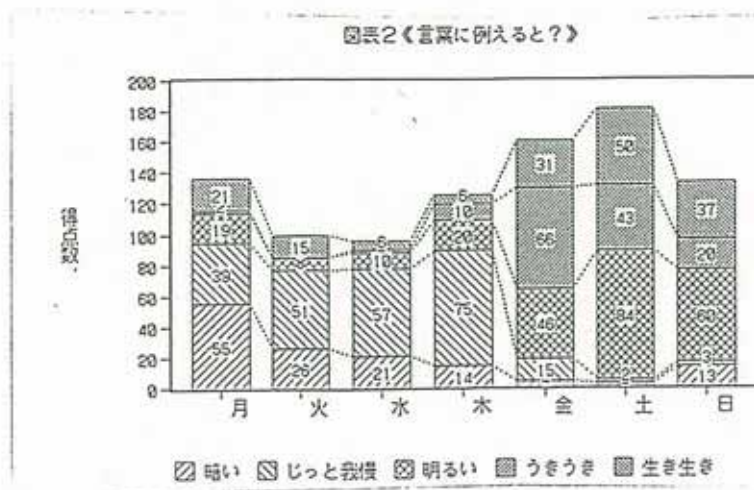
C群は「うきうき」、「ルンルン」といった躍動型。

図表1《言葉に例えると? (総計)》



図表1に示したように金、土、日にB群、C群が集中している。気になるのが金曜日、A群、B群、C群がほぼ均等に並んだうえにC群・躍動型が1週間の中で最も目立っている。B群・リラックス型に絶対数では及ばないものの、言葉で見ると金曜は一週間の中で最も華やぐ日といえる。

▼18個の言葉の中からキー・ワードとして特徴的な結果の出ている5個を選んでみた。「暗い」、「明るい」、「じっと我慢」、「うきうき」、「生き生き」の5つ。  
 図表2にみられるようにここで目を引くのは木曜と金曜の差である。



「じっと我慢」と「うきうき」が反転しており、木曜と金曜の境界に大きな意識の違いを感じる。もう一つは、月曜を頂点にして週末に向って減り続ける傾向にある「暗い」が土曜から日曜にかけて上昇している点である。また日曜だけに回答数が突出した言葉に「リラックス」があった。ゆったりした気分の中にもどこか明日からの一週間が入りこんでるのが日曜日といえよう。

## 2. 元気な順に番号で?

▼一週間を通じて最も元気な曜日を①、逆に最も元気のない日を⑦として、各曜日に①から⑦まで元気な順に番号を付けてもらった。

▼表3の下にある数字は、各曜日の①～⑦までをそれぞれ+3～-3まで度数(④は0)を付けて回答数を掛けて合計し、いわば元気度といった形で点数化したもの。▲が付いているのはマイナス。

表3 《元気な順に番号で?》

	月	火	水	木	金	土	日
元気度	▲168	▲127	▲138	▲104	175	267	156

※①:3、②:2、③:1、④:±0、⑤:-1、⑥:-2、⑦:-3で計算

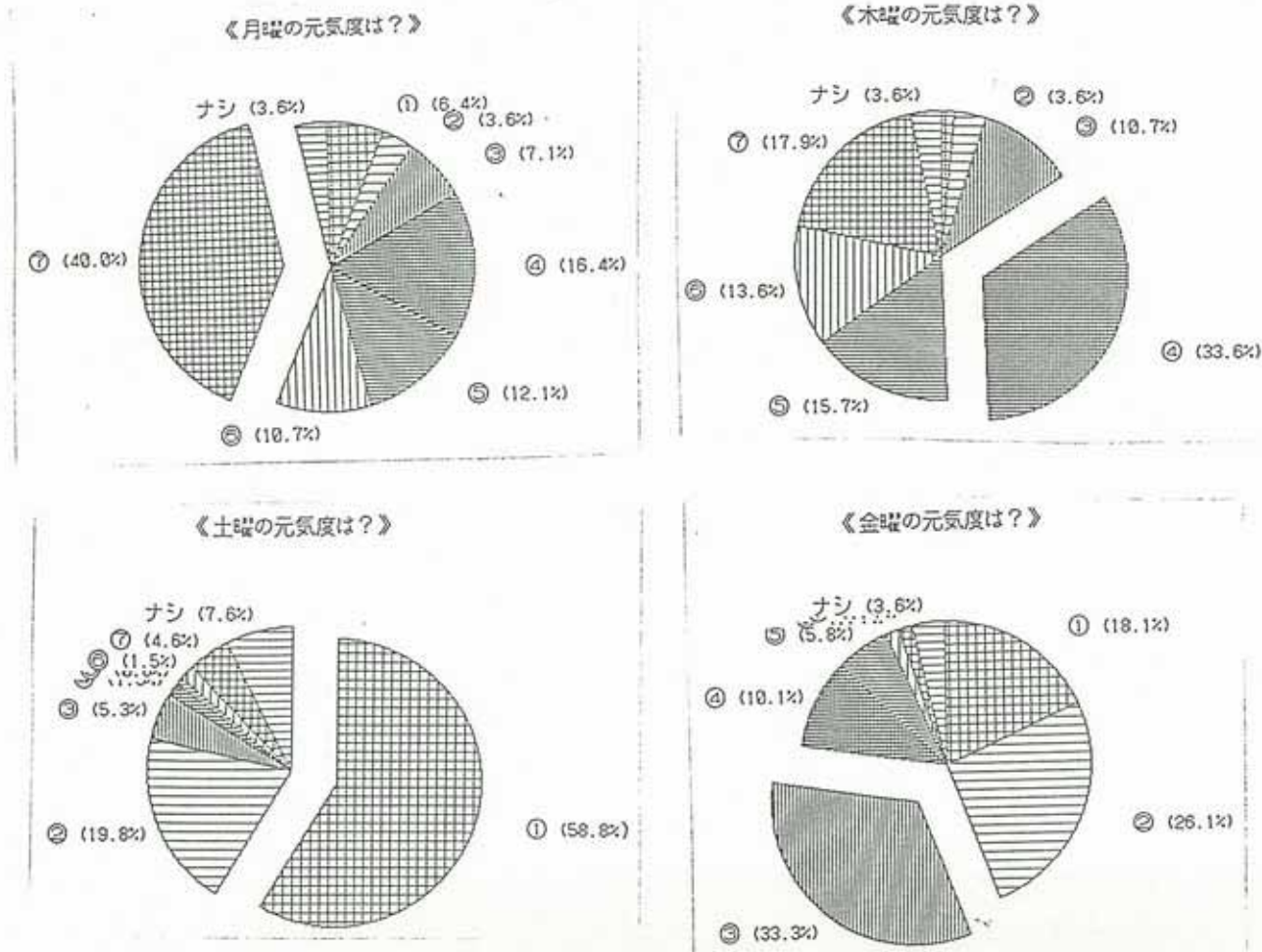
こうして見ると元気度数が一気に様変わりするのが木曜から金曜にかけてということになる。

▼では、曜日毎の①～⑦までの得票数の構成比を見てみよう。

特に①、④、⑦に注目して月、木、土曜の3パターンに分類してみた(図表3)。面白いことに月曜の①～⑥(ナシを含む)と⑦の構成比4:6と土曜の①と②～⑦(ナシを含む)の関係が逆転している。月曜と土曜の元気度とその構成はともにポジ、ネガの関係になっている。

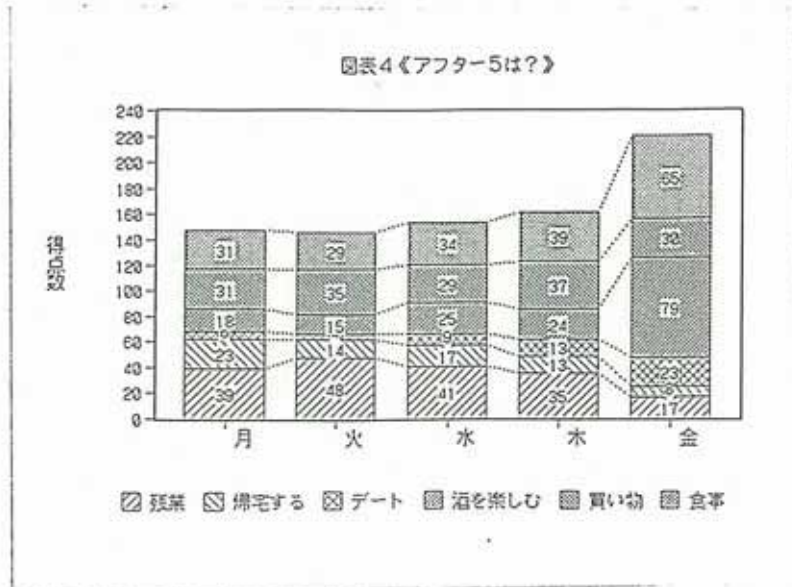
参考までに金曜の分も載せてみた。

図表3



### 3. アフター5は?

▼月曜から金曜までのアフター5をどう過ごすかについて、「食事」「買い物」「酒を楽しむ」「残業」「デート」「スポーツ」「映画」「コンサート」「ディスコ」「そのほか」の中からマルチアンサーで答えてもらった。その中から特徴的な選択肢6つを選んでグラフにした(図表4)。



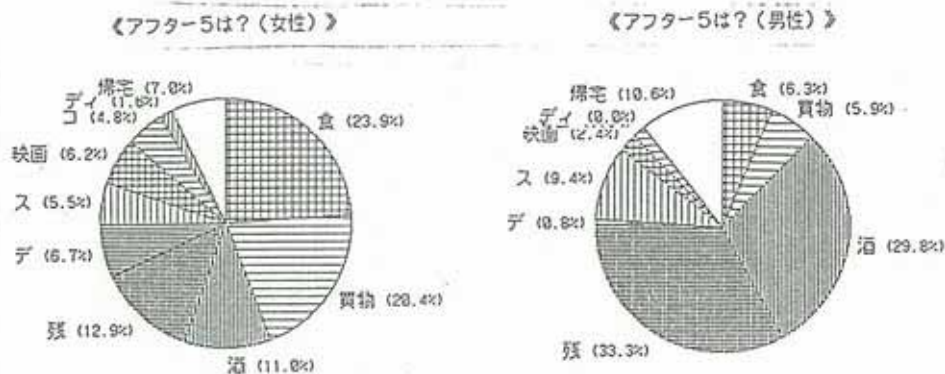
全体を見ると、週末に向って仕事以外の場でより行動的になっていく感じがつかめる。月～水曜では「残業」が1位を占め、続いて「食事」か「買い物」となる。

木曜になると「残業」が少し減って3位に落ち、「食事」「買い物」が1位、2位に上がる。

金曜になると、「酒を楽しむ」がそれまでの3倍以上、「食事」も2倍以上に増え、「残業」が半減し、「買い物」も減少傾向にある。「ハナキン」の存在がはっきりと確認できる結果である。

▼では、男女によるアフター5の行動の差はあるのだろうか。男女別に分けて探ってみた。図表5は月～金曜までの平均である。

図表5



※食=食事、買物=買い物、酒=酒を楽しむ、残=残業、  
 デ=デート、ス=スポーツ、ディ=ディスコ

女性は、3分の2ほどを「食事」「買い物」「残業」「酒を楽しむ」と多項目に渡って回答し、その他の項目も一定のポジションを占めており多彩なアフター5を過ごしている。男女の仕事の違いはあるが、女性にとって「残業」はあくまでも選択肢の一つに過ぎないようだ。

それに対して、男性は「残業」か「酒を楽しむ」の2つではほぼ3分の2を占め、ワンパターン化している。

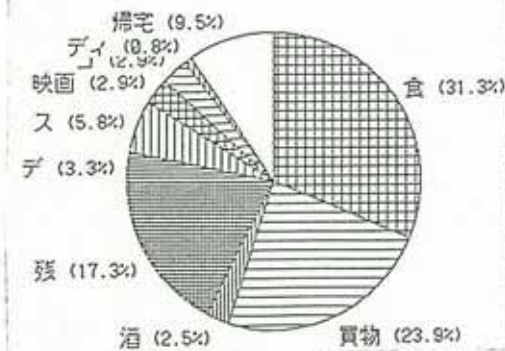


#### 4. 「ハナモク」はあるのか？

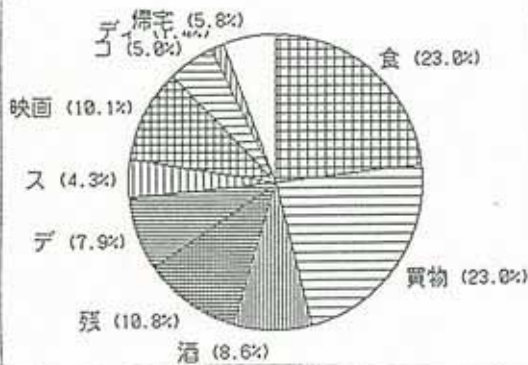
▼つぎに「ハナモク」の存在を確かめるために、男女別、曜日別にアフター5の行動について集計し、その比率を調べてみた(図表6と図表7)。月、火、水に関してはパターンがほとんど変わらないために平均して1つのグラフにしている。

図表6

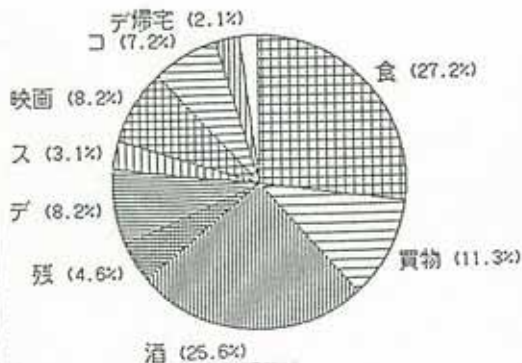
《女性・月～水》



《女性・木》



《女性・金》



図表7

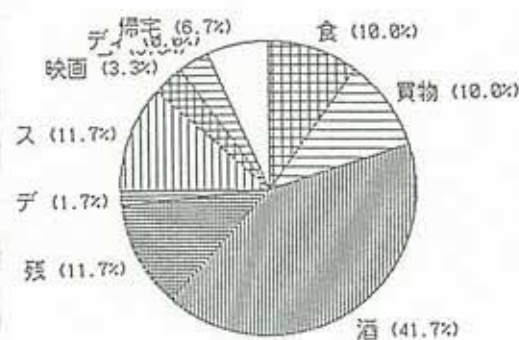
《男性・月～水》



《男性・木》



《男性・金》



▼女性の場合、月～水曜と木曜と金曜の3者では、それぞれパターンが異なっている。まず、月～水曜と木曜の違いを見ると、木曜には「残業」が減り、「映画」「デート」の増加が目立つ。「食事」は減ってはいるが、「酒を楽しむ」が増加するので、両方を合わせると、34%から32%への変化でほぼ同じである。つまり、月～水曜と木曜の違いは仕事から遊びに向かう変化にある。

つぎに木曜と金曜の違いを見ると、金曜には「酒を楽しむ」が木曜の3倍ほどに増えるのに対し、「買い物」が23%から11%へと半数に減る。「食事」も増えるが、月～水曜の平均までには達しない。「残業」も減る。

▼男性では、月～水曜と木曜と金曜では、月～水曜と木曜とは同じパターンを示し、金曜のみ異なる。

月～水曜と木曜とも、平均と同様に「残業」か「酒を楽しむ」が主となるが、金曜になると

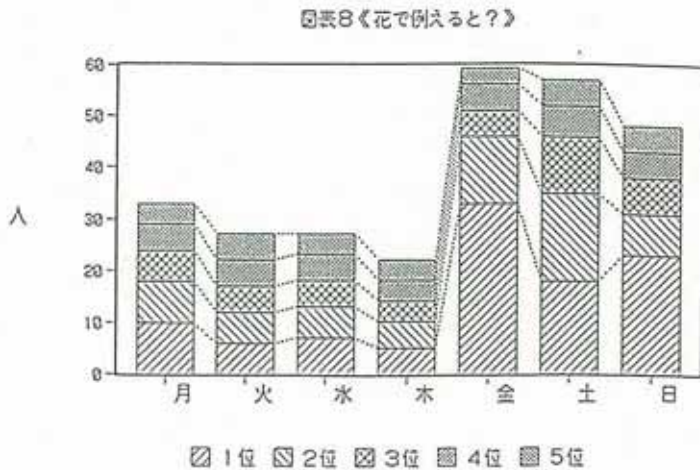
、「残業」が4分の1に減る一方、「酒を楽しむ」「買い物」「食事」がほぼ倍増する。1週間のストレスが一気に爆発する感がある。いずれにしても「酒を楽しむ」か「残業」という2つの選択肢しかない。

とすると、女性には「ハナモク」「ハナキン」があり、男性には「ハナキン」だけが存在する。

あえて言えば、女性にとっては「買い物」の「ハナモク」、「飲食」の「ハナキン」であり、男性にとっては「酒」の「ハナキン」となる。

## 5. 花で例えると?

▼この質問には思いっく花の名前を自由に記入してもらった。  
まずは曜日ごとの上位5位までの得点数を図表8にしてみた。



全体を見て気がつくことは、月～木曜までと金、土、日とでは得点数に大きな違いである。後者の方が比べて圧倒的に点数が高い。

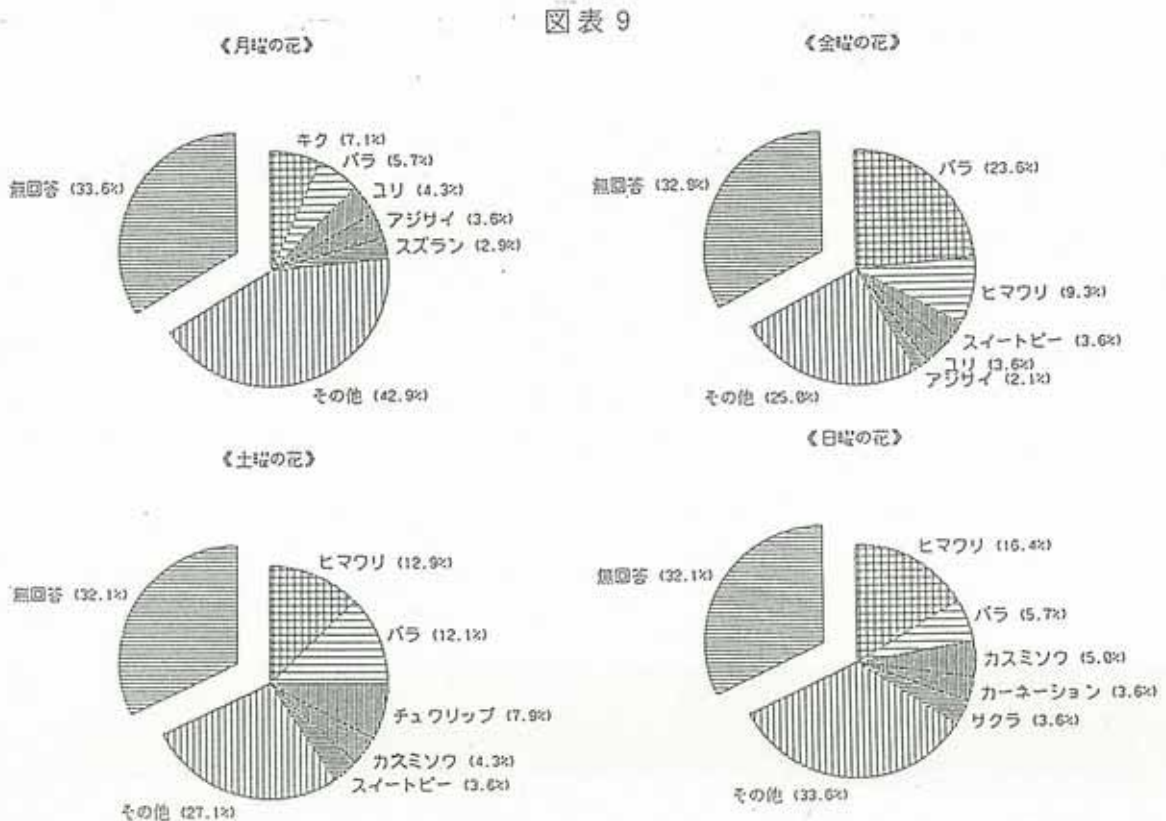
月～木曜では1位から5位までの得点の差は小さく花のイメージが不明確だが、金、土、日にははっきりした花のイメージがある。

例をあげれば金曜の1位(バラ)の得点数は月～木曜の5位までの総得点数にほぼ等しいか、それよりも多い。

▼次に図表9で月、金、土、日曜の4日分の具体的な花を示すと、まず目についたのが曜日に関係なく3分の1が無回答だったことである。3人に1人が曜日と花のイメージを結び付けられない点である。

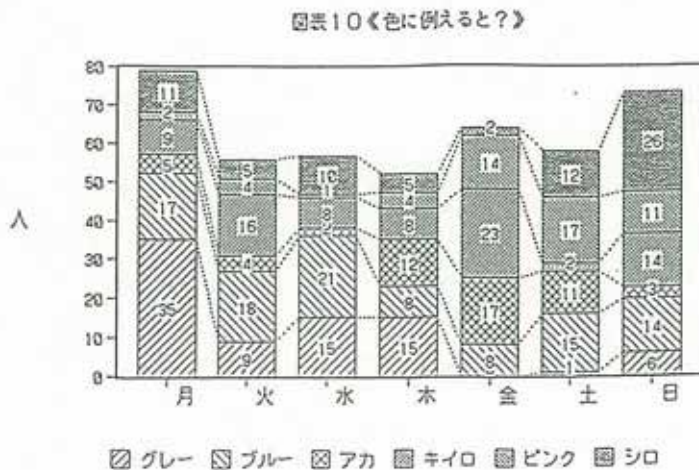
花の種類を見ると、金、土、日の3日間、順位の入れ替わりはあるもののバラとヒマワリに対する支持が強い。とりわけ金曜のバラは4人に1人とかわだっている。ちょっと危険な香りのする金曜のバラと日曜の健康的なイメージのヒマワリともいえよう。

そのほかを見てみると、月曜のところに枯葉や、しおれた花、落ち葉といった答えが40歳以上の男性にいくつかあるのが目についた。



## 6. 色で例えると?

▼同じく自由記入してもらったものだが、花と比べると色のイメージの方にはよりはっきりとした曜日感覚が表われている。出てきた色の中で代表的な5つをグラフにしてみた。



図表10の中で特徴的なのは月曜のグレー、金曜のキイロ、日曜のシロといったところ。“ブルーマンデー”ならぬ“灰色の月曜日”とでもいうのだろうか。むしろブルーは水曜日に吸い取られたようだ。

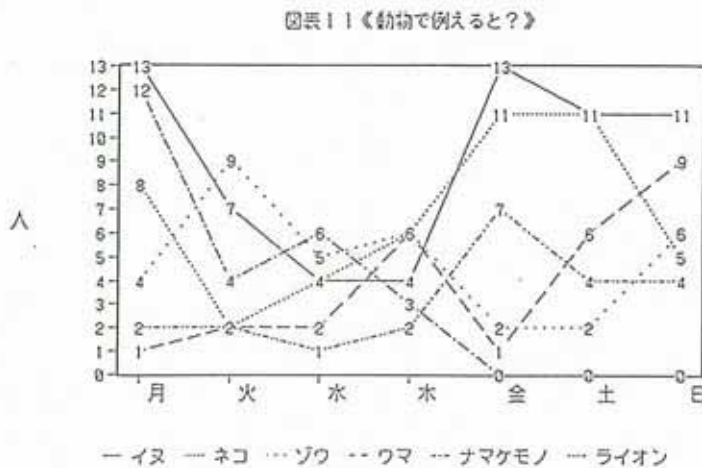
金曜の上位3色を見ると、キイロ、アカ、ピンクといった明るい色が並び、バラやヒマワリといった花のイメージと見事に対応している。

日曜のシロについていうと、週末で遊び疲れてぼーっとしている

印象や静かに家で過ごしている、あるいは新しい週へ向けて頭の中を白紙に戻して準備する様子が思い浮かぶ。

## 7. 動物で例えると?

▼他の質問と同じようにフリーに回答してもらったが、回答があまりにも多岐に渡って繁雑になってしまったので特徴的なものだけを並べてみた(図表11)。



まずはイヌを見ると、月曜と金曜がともに13票獲得している。ただし月曜のイヌは飼犬で番犬や猟犬のように忠実でおとなしく小屋の中にいる感じがするのに対して、金曜の方は自由に庭を駆け回っている様子が思い浮かぶ。

次にウマ。土、日曜にかけて点が高くなっているのが目を引く、どうも土、日曜のウマはサラブレッドのように思える。

そして金曜のライオンは週末になって会社から解放され野性に戻る、あるいはビヤホールやウィスキーのマークといったアルコールに関係したものが思い浮かぶ。

あと面白いのはナマケモノで月曜に12票獲得し、金、土、日曜はゼロ。

おわりに

花、色、言葉、動物、アフター5の過ごし方などを通じて、曜日感覚を多面的に調べたのが今回の調査である。サンプル数が決して多いとは言えないが、“ハナモク”“ハナキン”といった意識がそれなりに把握できた。

ただ気になったのは男性のアフター5の意識・行動である。その選択にバラエティに富んでいる女性に対して、「酒」「残業」が中心の選択肢に乏しい男性たち。花、色、動物などの自由回答にも無回答が女性より多いなど、決して豊かにアフター5を楽しんでいるようには見えない。

「Hanako」さんを含めた女性たちだけが、“ハナモク”を楽しんでいるのが現状のようだ。

付録《各曜日上位と点数》

	花		色		動物		言葉		元気	777-5
月	キク	10	グレー	34	イヌ	13	暗い	55	⑦ 56	残業39
	バラ	8	シロ	11	ハクモノ	12	ぐったり	42	④ 23	買物31
	ユリ	6	ブルー	11	ネコ	8	じっと我慢 ガラガラ	39 28	⑤ 17 ▲ 168	食事31 帰宅23
火	スマイレ	6	キイロ	16	ゾウ	9	じっと我慢	51	⑥ 55	残業48
	タンポポ	6	ブルー	15	イヌ	7	暗い	26	⑤ 39	買物35
	カスミソウ	5	グレー	9	コアラ	5	ガラガラ	21	④ 18	食事29
	キキョウ	5			サル	5	ゆったり	16	▲ 127	酒 15
水	アジサイ	7	ブルー	21	ハクモノ	6	じっと我慢	57	⑤ 43	残業41
	タンポポ	6	グレー	15	ゾウ	5	ガラガラ	26	⑦ 33	食事34
	スマイレ	5	クロ	11	コアラ	5	ぐったり	25	⑥ 24	買物29
	カスミソウ	5					暗い	21	▲ 138	酒 25
木	コスモス	5	グレー	15	サル	8	じっと我慢	75	④ 47	食事39
	スマイレ	5	グリーン	13	ウマ	6	ぐったり	24	⑦ 25	買物37
			アカ	11	ゾウ	6	明るい	25	⑤ 22	残業35
			ムラサキ	11	ネコ	6	へとへと	21	▲ 104	酒 24
金	バラ	33	キイロ	22	イヌ	13	うきうき	66	③ 46	酒 79
	ヒマワリ	13	アカ	16	ネコ	11	明るい	46	② 36	食事65
	ユリ	5	ピンク	11	ライオン	7	ルンルン	39	① 25	買物30
	スイートピー	5					生き生き	31	175	デザート23
土	ヒマワリ	18	ピンク	17	イヌ	11	明るい	84	① 77	
	バラ	17	シロ	12	ネコ	11	晴れ晴れ	65	② 26	
	チュウリップ	11	アカ	11	ウサギ	7	ゆったり	55	③ 7	
		オレンジ	11	ウマ	6	生き生き	50	267		
日	ヒマワリ	23	シロ	22	イヌ	11	リラックス	69	② 44	
	バラ	8	キイロ	14	ウマ	9	明るい	60	③ 31	
	カスミソウ	7	ピンク	10	クマ	9	ゆったり	55	① 22	
				ゾウ	6	生き生き	37	156		

※▲はマイナス（詳しくは2. 元気な順に番号で? 参照）